

「昭和天皇記念館」オープン



11月27日の「みどりの文化ゾーン開園・昭和天皇記念館開館式典」で挨拶する北側一雄国交相



左から、記念植樹をする昭和聖徳記念財団の金丸三郎副会長、藤村正哉副会長兼理事長、綿貫民輔会長



テープがカットされ、くす玉が割られて「みどりの文化ゾーン」が開園!



午後1時の開園をいまかいまかと待っていた人たちが、一斉に入場

国営昭和記念公園「みどりの文化ゾーン」の開園式典に、北側一雄国交相が挨拶する。式典には、昭和天皇御在位五十周年記念事業の一環として「緑の文化ゾーン」の開設と、昭和天皇記念館の再開と人間性の向上をテーマに、昭和五十三一言で挨拶を申し上げます。

緑とオープンスペースの中核を担う都市公園は、市民の多様なレクリエーション活動やコミュニケーション形成の場の提供など、幅広い役割を果たしてまいります。

国営昭和記念公園は、在までに四千万人を超え



北側一雄国交相の挨拶

「みどりの文化ゾーン」は、都市における「緑の文化」の創造と発信を基本テーマとしており、本館「みどりの文化ゾーン」の開園と、「昭和天皇記念館」の再開を記念して、花みどりの文化センター「緑の文化」に

は、ひとえに地元の皆様、関係する皆様、さらには、本館の職員、関係者、市民の皆様、さらには、情報発信・研究開発の一環として、活用することとしてまいります。

また、「花みどり文化センター」に関する市民の方々の活動の拠点として、関係者の皆様のご協力の賜下、広く国民の皆様様に親しまれるよう、一層努めて参ります。

引き続き、ご列席の皆様のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年11月27日
国土交通大臣
北側一雄



念願の昭和天皇記念館と記念公園「みどりの文化ゾーン」開園・昭和天皇記念館開館式典が十一月二十七日、東京・立川市の同公園内で、北側一雄国土交通相や扇千景参議院議長、綿貫民輔昭和聖徳記念財団会長ら約五百人が出席して開催されました。

国歌斉唱の後、北側国交相が主催者を代表して最初に挨拶(別掲)、綿貫会長も「きりぎりす」を披露しました。

開園直後のみどりの文化ゾーンでアトラクションに拍手する人(左)や「そよぎの丘」でくつろぐ人たち(右)

●昭和天皇記念館メモ

☆アクセス 東京の新宿駅よりJR中央線で立川駅まで特快で約30分、北口からあけぼの口を歩いて徒歩13分。

☆入館料 一般五百円(三百五十円)、大学生・高校生三百円(二百十円)、中学生・小学生百円(七十円)、幼児は無料。(一)内は20人以上の団体料金。心身障害者とその介護者一人は無料(障害者手帳等をご提示いただきます)

☆開館時間 9時半～16時半(3月から10月末は9時半～17時)、入館は閉館の30分前まで

☆休館日 毎週月曜日、ただし、月曜日が休日の場合は直後の平日。

☆その翌日(公園の施設点検日) 042・540・0429

全国から見学者

東京・立川

会長の偲びながら多くの方々のご寄付に感謝の挨拶(2面に全文)、続いて、和天聖徳記念館を内覧、午

後一時から一般見学者が記念館につきましまして、入館しました。

私(国土交通大臣)をして、いた時に、整備の方向性について検討し、整備に着手したものでございまして、経緯を説明、祝辞(3面に全文)を述べました。

式典後、北側国交相ら



(題字・大槻文平初代会長)
(毎月1回 10日発行)
発行所
財団法人昭和聖徳記念財団
〒190-0012
東京都立川市曙町2-34-13
オリンピック第3ビル
電話 (042)522-2451
FAX (042)522-7747
http://www.f-showa.or.jp

昭和天皇御製
木がらしのすさぶみ空はすみすみ
ふけゆく夜半の月ぞ寒けき
昭和二十七年

香淳皇后御歌
しげりあひし広野の草は枯れふして
小鳥むれある実をあさるらし
昭和三十八年

ひと口メモ
昭和27年は、5月3日に皇居前広場において、昭和天皇御在位50周年記念式典が挙行され、香淳皇后ご臨席になりました。

この刊行物は、宝くじの普及宣伝事業として助成を受けて作成されたものです。